

仕様書

1. 件名 Azure サービスの利用
2. 目的 量子科学技術研究開発機構（以下、QST）における IT 基盤の迅速かつ機動的な整備・構築を可能とするため、Microsoft 社の運営するクラウドサービス「Azure」を導入している。現行の利用契約が令和 7 年 6 月末日で切れるためこれを更新するものである。
3. 履行期間 令和 7 年 7 月 1 日～令和 8 年 6 月 30 日
4. 納入場所 量子科学技術研究開発機構 千葉地区 情報基盤管理部居室
5. 内容
 - ① QST が令和 7 年 6 月末日まで契約しているサブスクリプションを継続して利用すること。
 - ② 「別表 利用計画書」に記載された Microsoft Azure のサービスが利用可能であること。
 - ③ QST が運用している Microsoft365 と連携し、ユーザ管理が一元化できること。
 - ④ QST がすでに構築し、運用している AzureNetwork をそのまま引き続き利用可能なこと。
 - ⑤ ISMAP クラウドサービスリストに登録されていること。
 - ⑥ Microsoft Azure のテクニカルサポートサービスが利用可能であること。（詳細は別紙 詳細仕様書を参照）
6. 支払 費用は月毎のサービス利用量を元に算出されること。
毎月の利用見込みは「別表 利用計画書」参照。
支払については請求書払いが可能であること。ただし、受注者の規定する契約期間分の最低利用額は、契約時にまとめて支払うこととする。
7. 検査条件 5.に定める内容が実施されたことの確認をもって検査合格とする。
8. 遵守事項、その他
 - ① 受注者は、当機構の情報セキュリティポリシーを遵守すること。
 - ② 受注者は、本件で取得した当機構の情報を、当機構の許可なしに本件の目的以外に利用してはならない。本件の終了後においても同様とする。

- ③ 受注者は、本件で取得した当機構の情報を、当機構の許可なしに第三者（Azure を運営する Microsoft 社は含まない）に開示してはならない。本件の終了後においても同様とする。
- ④ 本仕様において疑義が生じた場合には、受注者と QST 側要求者双方が協議のうえ決定する。

(要求者)

所属部課名

情報基盤管理部 I T 企画課

氏名

野上 敦史

選定理由書

1. 件名	Azure サービスの利用
2. 選定事業者名	株式会社大塚商会
3. 目的・概要等	IT 基盤の迅速かつ機動的な整備・構築を可能とするため、Microsoft が運用するクラウドサービス「Azure」を活用する。 Azure とは、サーバやネットワーク、データストレージなどの IT 基盤をクラウド上で利用可能とするサービスである。また、IT インフラだけでなく、IoT やブロックチェーン、人工知能の機械学習、データ分析など、様々な業務をクラウド上で行うためのプラットフォームも提供している。 量研の業務効率化を目指した管理業務等のクラウド化を推進するための基盤サービスとして令和 4 年 1 月から Azure 利用を開始しており、契約更新となる 7 月以降も引き続き利用する。
4. 希望する適用条項	契約事務取扱細則第 29 条第 1 項第 1 号ヲ (特定の業者以外では販売、提供することができない物件を購入、借用、利用するとき)
5. 選定理由	量研では令和 6 年 5 月に Microsoft365 の法人一括契約 (ESA 契約) の契約相手先が、一般競争入札を経て、株式会社大塚商会に決定した。 Azure サービスにおいては量研 Microsoft365 と連携したユーザ管理を行い、利用権限や認証、仮想ネットワーク制御、セキュリティ管理を量研 Microsoft365 に登録された組織やグループと連動して行うため、Microsoft365 の ESA 契約の契約相手先とサービス利用契約を締結する必要がある。よって、株式会社大塚商会を選定先とする。